



教育の広場

体力向上に向けた取組

七郷小学校



1 本校の児童について

本校は、男子51名、女子63名、全校児童114名の小規模校です。登下校は、1時間近く歩く児童もいます。

単学級であり、クラス編制もなく、全学年男女の区別なく仲良く外遊びを楽しんでいます。校舎の前は芝生の庭で、ブリッジや倒立、ハンドスプリング等で遊ぶ児童もいます。

2 体力向上に向けた取組

体育の授業だけでなく、体育朝会や業間休みを利用して一年を通じて体力向上に向けて取り組んでいます。運動の習慣が身につくように、技能の向上に加え、誰もが楽しんで取り組める工夫をしています。「体育朝会でやった鬼遊びをしてみよう」と、児童が休み時

間でも自然と取り組めるように指導しています。昨年度の取組を紹介します。

① 鬼遊び

走力や空間を認識する力を高めます。全校児童が楽しみ、運動量を確保しています。その結果、休み時間での遊びの種類を増やすことができました。

【取り組み例】

ふやしおに てつなぎおにかこみおに ひっこしおに

② 体ほぐしの運動

調整力をつけます。音楽を聴いて、リズムを意識した活動をしました。

【取り組み例】

表現運動（円形コミュニケーション・リズムじゃんけん）

明るい社会をめざして

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

町では、7月1日に役場会議室において保護司及び更生保護女性会の皆さんが法務大臣メッセージを町長へ伝達しました。

その後、ヤオコー嵐山バイパス店と嵐山農産物直売所において、うちわやティッシュなどの啓発物資を配布し、熱心に街頭キャンペーンを行いました。



就学時健康診断の日程について

平成26年度 小学校入学予定児童

の保護者の皆様へ

本年度の健診日程をお知らせいたします。対象者の方へは個別送付をいたします。9月初旬発送の予定です。

志賀小学校 10月1日(火)
菅谷小学校 10月30日(水)
七郷小学校 11月15日(金)
全校とも 受付時間 13時00分～13時15分

問合せ 教育委員会 こども課
学校教育担当 ☎62-0823

指定校以外の学校へ

通学を希望される方へ

教育委員会では、児童・生徒が通学する小・中学校について、通学区域を設定し、住民票の住所に基づいて、通学すべき学校を指定しています。

しかし、特別な事情に限り指定校の変更が認められる場合があります。指定校の変更を希望される場合は、教育委員会へお申し出ください。

受付期限 8月1日(休)より9月13日(金)
8時30分～17時15分(土日を除く)

問合せ 教育委員会 こども課
学校教育担当 ☎62-0823

③ 縄跳び

縄跳びをすると、持久力・瞬発力・敏捷性等、幅広く体力を向上させます。また、短時間でもかなりの運動量（トレーニング効果）が期待できます。

・短縄跳び

事前に運動委員が試技を演じました。縦割り班で、上級生が下級生に教え、短なわの多彩な技の習得を目指しました。なわとび検定表は「名人用」「エキスパート用」があり、休み時間もたくさん児童が練習しました。

・長縄跳び

8の字跳びを中心に、縦割り班で、教えたり励ましあったりしながら、技の習得ができました。



運動委員会の縄跳び紹介

④ 走ることへの意欲化と習慣化への取組

・マラソンカードの活用

走ることは、体力の基礎と考え、二期では、業間休みや業前の時間を使って、全校マラソンをしました。5分間走を実施しました。マラソンカードに何周走ったかを記録することで意欲が高まりました。

・走ることへの習慣化

運動委員の児童の声を吹き込み、整列↓健康観察↓準備運動↓5分間走（前半1分は集団走、後半4分は個人走）↓集合↓整理運動↓行進という一定の流れの習慣化につながりました。

3 これからの取組

新体力テストの結果は今年度も、県平均を上回りました。しかし、全児童が各種の運動全ての基本的な技能を身につけたとは言えません。今年度も引き続き、新体力テストの結果の向上を目指し、各種の運動の基本的な技能が確実に身につくようにしていきます。

夏休み

安全安心なまちづくり



◆町長室だより◆

二十四節気の小暑（七月七日頃）を過ぎれば梅雨明けも間近。菅谷津島神社の天皇様の頃で、いつも雷光と雷雨で梅雨が明け本格的な夏の到来となります。期を同じく、小中学生も夏休みを迎えます。過日、県より「市区町村別交通事故発生率」（5月末日現在）が発表され、県北の上尾・本庄・美里と県南の三芳町などがワースト上位を占めています。この一、000人当たりの人身交通事故発生件数で嵐山町は、72市町村中、49位でした。

また、全刑法犯・市区町村別犯罪率では、蕨・大宮区・三郷市などがワースト上位でした。

嵐山町は55位となり、前年比でも約2ポイント近く減少できました。

全市区町村とも、安全安心の地域づくりに努力していきますが、なかなか思い通りの成績に結びつきません。町では夏を迎え、さらに町民一丸となって「笑顔で安心できるまちづくり」をめざします。